

公益財団法人K I E R 経済研究財団

平成30年度 定時評議員会議事録

1. 日 時 平成30年6月28日(木) 11時05分～11時47分
2. 場 所 京都大学経済研究所本館1階会議室
(京都市左京区吉田本町)
3. 評議員総数及び定足数 総数 3名、定足数 2名
4. 出席評議員数 3名
(出席者) 大川昌幸、関口 格、夏目啓二
(監事出席) 西村 和雄
(理事出席) 矢野誠理事長、林 晴夫理事
5. 議 案
審議事項 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算報告(案)について
第2号議案 役員(理事および監事)候補者の選任について
第3号議案 その他
報告事項 1. 運営委員会運営委員の選任について
2. 研究助成の選考について
3. 臨時評議員会の招集等について
4. 顧問候補者の選任について
5. その他

6. 会議の概要

矢野理事長から、評議員総数3名中3名が出席であり、開催要件の過半数である定足数を充足していること、議長については、定款第23条の規定に基づき、出席した評議員の中から選出することとなっている旨説明があり、その結果、関口評議員が議長となった。続いて、議長から本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。

(審議事項)

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算報告(案)について

事務局から、資料1に基づき、平成29年度事業報告及び決算報告(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致で可決した。

第2号議案 役員（理事および監事）候補者の推薦について

議長から、評議員、役員（理事および監事）の任期について、評議員については、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとなっていること、理事および監事については、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとなっていることの説明があり、評議員の任期は平成32年6月の定時評議員会まで、役員（理事および監事）の任期は、いずれも平成30年6月の定時評議員会までとなる旨説明があった。

原則、現役員（理事および監事）に再任いただくが、次の者については、再任せず、新候補者となる旨説明があり、審議の結果、原案どおり出席評議員 全員一致で可決した。

矢野 誠 理事の後任に三野和雄氏の推薦があり、審議の結果、出席評議員全員一致で可決した。

林 晴夫 理事の後任に八木 匡氏の推薦があり、審議の結果、出席評議員

全員一致で可決した。

続いて、三野和雄 監事の後任に有賀 健氏の推薦があり、審議の結果、出席評議員全員一致で可決した。

なお、本日開催の評議員会終了後、改めて理事会を開催し、理事長の選定を行う旨報告があった。

第3号議案 その他 平成30年度事業計画案について

理事長から、平成30年3月に開催した平成29年度臨時評議員会において了承された平成30年度事業計画について、【国際的学術研究・情報発信事業】のうちⅢ. 研究成果公開等については、ディスカッションペーパーを経済研究所と共同出版し国際的に発信して行くこと、Ⅳ. 図書及び資料の収集と整理等については、研究成果の刊行、著書の購入し書籍を収集すること、Ⅴ. その他、本公益財団の目的を達成するために適当と認められる事業の実施については、経済研究所と共同出版したディスカッションペーパーを国際社会に発信する事業を実施する旨説明があり、審議の結果、出席評議員全員一致で可決した。

(報告事項)

1. 運営委員会運営委員の選任について

議長から、資料2に基づき、^{ジョナサン ニュートン}Jonathan Newton氏、及び平成30年7月1日採用予定の ^{はっとり たかし}服部 崇氏を運営委員会運営委員に選任する旨説明を行い、理事会において了承された旨、報告を行う。

2. 研究助成の選考について

議長から、平成30年度研究助成の公募について、研究プロジェクト助成の応募が4件あったこと、研究助成選考委員会を開催し選考を行った結果、資料3の研究支援・助成事業採択一覧のとおりとなり、理事会において了承された旨報告があった。

3. 臨時評議員会の招集等について

議長から、平成30年度の臨時評議員会は2～3月に開催予定であること、また、平成31年度事業計画及び収支予算(案)、財産運用の経過報告及び投資方針書(案)、平成31年度研究助成に関する実施要項(案)、平成31年度研究助成選考委員会委員の選任、定時評議員会の招集等について附議予定であること、その他関係法令、定款、規則等に定める事項について議題を追加する可能性があること、開催日時については、日程調整のうえ、開催1週間前までにお知らせする予定であることの報告があった。

4. 顧問候補者の選任について

議長から、顧問候補者の選任について、引き続き、吉田顧問及び出田顧問に再任願うことが、平成30年6月に開催した第1回通常理事会において了承された旨報告があった。

なお、顧問の増員についての検討は次期執行部にて審議することとなった旨報告があった。

5. その他

(1) 平成30年度事業計画及び収支予算等の提出について

事務局から、資料4のとおり、昨年度の臨時評議員会等において、審議・了承された平成30年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について、内閣府へ提出した旨報告があ

った。

(2) 事業報告等定期書類の提出等について

事務局から、法人法で定める計算書類等のほか、毎事業年度経過後3箇月以内に、財産目録、役員等名簿、役員等の報酬等の支給基準を記載した書類、キャッシュ・フロー計算書、運営組織及び事業活動の状況についての概要並びにこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類について、作成・提出・開示する必要がある旨報告があった。

(3) 保有債券の運用状況について

事務局から、資料5のとおり、平成28年10月に買付けたニッセイ国内債券アルファについて、517,383円の含み損が生じているため、前回、平成29年度臨時評議委員会です承を得たとおりワーキンググループを設置すること、その人選と投資方針結果については新執行部に申し送ることとの説明があった。

(4) 経済研究所の現状について

京都大学経済研究所所長から、経済研究所を取り巻く現状として、

- 1) 共同利用・共同研究拠点事業の国際化について報告があった。

以上により、本日の議事を終了したので、議長は閉会を宣した。

平成30年 6月 28日

議長 関口 格